

安全データシート

作成：2015年6月30日

改定：2022年4月1日

整理番号 **POWERTORE PI-201**

1. 化学物質等および会社情報

1-1 製品

製品名 ①パワトレ PI-201
使用分野 ②塗料ミスト処理
製品内容 ③塗料ミスト処理剤

1-2 供給者情報

会社名 ①株式会社PI
住所 ②愛知県豊田市陣中町1-22-6
担当部門 ③薬品事業部 PIケミストリー
販売者 ④株式会社PI
電話番号 ⑤0565-77-0106
FAX番号 ⑥0565-77-5075
緊急連絡先 ⑦0575-77-0106

2. 危険有害性の要約

2-1 GHS分類 分類対象外

2-2 取扱注意 ①皮膚に対して有害ではない。機械的な作用による眼炎症の可能性はある。
②ダストが呼吸器上部器官に炎症を起こすことがある。
③吸入によって呼吸困難、肺機能低下をきたすことがある。
④臭い なし
⑤外観 リキッド状グレーの液体
⑥火災時は加圧式呼吸器（全面タイプ）を着用する事。
⑦適切な消化剤は、ドライケミカル、二酸化炭素、泡、水。

2-3 健康への影響

◆皮膚への影響（急性） ◎皮膚に対して無害である。
◆眼への影響（急性） ◎機械的な作用による眼炎症の可能性はある。
◆吸い込んだ場合（急性） ◎被爆の主経路。ダストが呼吸器上部器官に炎症を引き起こすことがある。
◎吸入によって呼吸困難、肺機能低下をきたすことがある。

- ◆飲み込んだ場合の影響 ◎胃腸器官にわずかな炎症を引き起こすことがある。
- ◆影響を受ける器官 ◎入手できる情報では悪影響は認められない。
- ◆悪化する症状 ◎呼吸器系疾患
- ◆被爆の症状 ◎ダストを吸い込むことで呼吸器上部器官に炎症を引き起こしたり、呼吸困難となることがある。

3. 組成および成分情報

- ◆物質の特性 ◎混合物
- ◎クレイの分散液
- ◆化学・一般名称 ◎塗料ミスト処理剤

成分	CAS	既存化学物質番号	配合
① ベントナイト	① 1302-78-9	① 1-548	① 6.0～6.5%
② 水	② 7732-18-5	② ----	② 93.5～94%

- ◆国連番号 ◎なし

4. 応急措置

- ◆眼に入った場合 ◎直ちに多量の清浄な流水で15分間以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたを指で拵げ、同時に眼球をあらゆる方向に動かさせる。痛みのため眼を擦ることはさせない。そしてなるべく速やかに眼科医の手当てを受けさせる。
- ◆皮膚に付着した場合 ◎水で良く洗い流させる。
- ◆吸入した場合 ◎汚染された場所から被災者を新鮮な空気のところへ移動させる。必要に応じて適切な応急措置を行う。
- ◆飲み込んだ場合 ◎意識を失っていたり、痙攣を起こしている被災者には口から何も与えないこと。無理に吐き出させない。直ちに医師の手当てを受ける。胃の中のをものを希釈させるには3-4杯のミルクあるいは水を飲ませる。
- ◆医師に対する連絡 ◎特別な指示はない。

5. 火災時の措置

- ◆消防作業時 ◎消火作業者は加圧呼吸保護具（全面タイプ）を着用する。
- ◆消化剤 ◎ドライケミカル、二酸化炭素、泡消化剤あるいは水を使用する。
- ◆熱分解生成物 ◎燃焼火災条件で、各種元素の酸化物を発生する。
- ◆引火点 ◎なし

6. 漏出時の措置

- ◆防止処理と漏出の抑制
 - ◎換気を行う。指定された保護具を着用すること。漏れを抑制して吸着材に吸着させる。廃棄用の容器に回収する。
 - ◎水で洗い流す。濡れた箇所は滑りやすいことがある。
 - ◎砂や砂利を撒く。
- ◆廃棄の手順
 - ◎「廃棄物の処理及び清掃に関する法」等に従って焼却処理を行うか、または許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- ◆取扱い
 - ◎通常の化学品と同じ取り扱い。
- ◆貯蔵・保管
 - ◎製品を使用しない場合には容器を密栓すること。他物質が混入しないように保管すること。凍結させないこと。

8. 暴露防止措置及び保護措置

- ◆設備対策
 - ◎暴露許容濃度以下にするのに十分な換気設備。
- ◆安全保護具
 - ◎必要に応じて呼吸器保護具を着用すること。空気清浄用呼吸器呼吸保護具が必要な場合にはダスト／ミスト用フィルター付の呼吸器を使用すること。
- ◆皮膚の保護具
 - ◎ネオプレンかあるいはそれと同等以上の長手袋にて取り扱う。
 - ◎使用した長手袋は、作業後十分に洗うこと。
 - ◎必要に応じて交換すること。
- ◆眼の保護具
 - ◎薬品飛散防止用ケミカルゴーグル。

9. 物理的及び化学的性質

- ◆外観
 - ◎灰色分散液
- ◆蒸気圧
 - ◎ 18 mm Hg
- ◆蒸気密度
 - ◎ < 1.00 (空気 = 1)
- ◆嵩比重
 - ◎ 1.10 (25°C)
- ◆溶解度 (水中)
 - ◎ 0.0%
- ◆pH
 - ◎ 8.1~10.5
- ◆臭い
 - ◎なし
- ◆揮発速度
 - ◎ < 1.00 (エーテル = 1)
- ◆引火点
 - ◎なし
- ◆凝固点
 - ◎ 0°C
- ◆粘度
 - ◎ 500~1,200 (25°C)

10. 安定性及び反応性

- ◆安定性 ◎通常の貯蔵条件では安定。
- ◆重合性 ◎有害な重合を引き起こさない。
- ◆混合禁止 ◎強酸化剤と反応する。
- ◆分解生成物 ◎熱分解性生物：各種元素酸化物

11. 有害性情報

- ◆経口 LD50 (ラット) ◎> 2,000 mg/kg
- ◆経皮 LD50 (ラビット) ◎> 2,000 mg/kg 概略値

12. 環境影響情報

- ◆水棲生物に対する毒性 ◎データなし
- ◆生物分解性 ◎データなし

13. 廃棄上の注意

使用する当該地区ないしは廃棄しようとする地区の廃棄物処理法令に準じて廃棄すること。

- ◆埋め立て地に廃棄する場合 ◎非危険性液体廃棄物として固めた後廃棄する。
- ◆燃焼処理を行う場合 ◎燃焼排ガスの処理対策を講ずること。

14. 輸送上の注意

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下がないよう荷崩れの防止を確実に
行う。

- ◆国連番号 ◎なし
- ◆DOT ハザード
- ◆DOT EmergencyResponse Guide #

15. 適用法令

◆毒性及び劇物取締法	◎該当しない
◆労働安全衛生法	◎該当しない
◆海洋汚染防止法	◎該当しない
◆水質汚濁防止法	◎該当しない
◆航空法	◎該当しない
◆危規則	◎該当しない
◆消防法	◎該当しない
◆化学物質管理促進 PRTR 法	◎該当物質なし
◆GHS 分類区分	◎該当物質なし

16. その他の情報

◆なし